

## Clinical Characteristics of and Medical Interventions for COVID-19 in Hemodialysis Patients in Wuhan, China

Fei Xiong, Hui Tang, Li Liu, Can Tu, et al.

JASN 31: 1387-1397, 2020; DOI: <https://doi.org/10.1681/ASN.2020030354>

全文 URL : <https://jasn.asnjournals.org/content/jnephrol/31/7/1387.full.pdf>

### 武漢における血液透析患者の臨床像と医学的介入

COVID-19 は、高齢者や糖尿病・高血圧・心血管病などの基礎疾患を有する対象で重症化するリスクが高い可能性が示唆されている。また、維持血液透析患者は、しばしばこれらのリスクを有している。しかし、血液透析患者での COVID-19 の臨床像および介入の実態に関する情報は未だ限定的である。

著者は、2020年1月1日～3月10日の期間に、武漢の65施設で COVID-19 と診断された血液透析患者の臨床データを後方視的に分析した。

7,154名の血液透析患者のうち、154名が COVID-19 と診断された。平均年齢は63.2歳、男性が57.3%であった。基礎疾患として心血管病を有する患者がもっとも多かった(68.7%)。発熱は、51.9%のみで観察され、21.4%が無症状であった。胸部 CT 所見で最も多かったのは、スリガラス様陰影または斑点状陰影であった(82.1%)。包括的な介入(入口での体温および症状のスクリーニング、全例への胸部 CT および血液検査などの施行)を開始後、1月30日時点で新規 COVID-19 患者は10人/日となりピークアウトし、2月11日時点で4人/日まで減少した。2月26日～3月10日の期間で新規患者は確認されなかった。

#### 要約作成者のコメント:

中国武漢の血液透析患者における COVID-19 の臨床像および医学的介入後の感染者数の推移に関する記述疫学的研究である。COVID-19 において人種間での臨床像の違いが示唆されている中、本邦と同じアジア圏からの報告は、貴重と考えられた。特に、無症候性感染の患者が21.4%であった点は、今後の本邦における感染対策において参考に資する情報と考える。一方、論文中に記載されている血液透析患者全例に対する胸部 CT および血液検査でのスクリーニングの有効性については、本研究のデザインでは十分に検証されておらず、結果の解釈には注意が必要と思われる。また、死亡を含むアウトカムに関する分析も行われていない点も限界と考えられる。

要約作成者: 飯塚病院腎臓内科/臨床研究支援室 佐々木 彰